

加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会
ワーキンググループ 第1回セミナー 議事要旨

1 日時：2023年8月8日（火）午後2時00分から4時30分まで

2 場所：加茂市役所3階 302・303会議室

3 出席者

委員：別紙名簿参照

オブザーバー：別紙名簿参照

事務局：政策推進室、(株)オリエンタルコンサルタンツ

4 議事

(1) 開会あいさつ

(2) 講師ご紹介

… (株) connel 萩野 正和 氏

(3) R4年度の検討結果の概要説明

(4) 講義

【テーマ】

「エリアプラットフォームの設立に向けてのこれからのまちづくりの動向と考え方」

○「エリアプラットフォーム」とは

…これまで行われてきた「まちづくり」に関する議論の場のこと。既存の概念。

・「プラットフォーム」

…「方向性を共有し、ともに取組みを考える場」という意味で使われている。

⇒「エリア」という地理的な区切りを設け、官民を問わない様々な存在が連携しながら将来像（＝未来ビジョン）やその実現に資する取組を協議する場 と言える。

⇒「未来ビジョン策定」+「実現に向けた取組みの実行」というスキームであり、失敗も含めた成果を体感しながら進めていくことが特徴。

○未来ビジョン実現に向け、一貫して事業全体を管理する「マネージャー」の存在が重要。エリアプラットフォームに求められる大きな役割。

以 上

(5) 質疑応答

【質問】まちづくりの根本的な考え方から、様々な実践事例まで非常に学びがあった。活動を実践するにあたり、人件費等が発生すると考えるが、どのように捻出しているか。

【回答】都市部⇒広告収入。地方⇒不動産関連、駐車場運営、広告収入など。稼ぐ場として認識されていなかった公共空間を有効に活用できれば資金を得ることができる。

【質問】エリアマネジメントは行政単位で縛られるものではないと感じた。運営資金が乏しい等の理由で、複数自治体でエリアマネジメントを行った事例は。

【回答】「官民連携」の事例ではほぼない。広義の「マネジメント」というところで考えると、「花火大会」は市町村連携を行っている。

【質問】運営資金を「誰が出すか」にとらわれると、複数自治体でのエリアマネジメントは起こりにくいと感じた。

【回答】今後は市町村を跨いでまちづくりを行う存在が出てきてもおかしくない。市町村内でエリアを区切って行う方が、今回の、ある意味「地べたを這う」ような取組には合っていると思う。

(7) 意見交換会

【テーマ】「ありがたい姿や暮らし」に関する意見交換

(8) 総評

【総評者】(株)connel 萩野 正和氏

A 班…他人に共感されるアイデアは良いもの。持続可能な形の事業化にチャレンジしてほしい。

B 班…まちの風景や地域の人顔が見えることに「豊かさ」を感じて発想することが重要。

C 班…時代に合った形で未利用空間を活用することや、外見（ハード）のみではなく中身（ソフト：仕組みなど）に力を入れることが重要。

(9) 事務連絡

次回WG…8/29（火）14：00～ 加茂市役所3階 301・302会議室

(10) 閉会

以上